

社会で活躍する人財を育成する



阪神まち大学

HANSHIN MACHI COLLEGE

2019-20

«REPORT»

基礎講座

専門家や現場従事者から、社会や実践で必要な知識やスキルを社会人と共に学ぶ！

専門家や現場従事者と会場を交えたトークセッションやワーク / 全5回

●対象・受講料

一般申込者（社会人・大学生） **3,000 円/科目** ※1 回のみ受講可。年間申込者優先。

実践講座受講生（大学生） **5,500 円/年**（基礎講座＋実践講座の料金）

●学ぶこと

社会人として必要なスキルや知識、または実践講座の活動に必要なスキルや知識を各分野のプロフェッショナルから学ぶ。

●概要

「実践講座」の活動に必要なスキルを習得する**スキル編**と、活動する上で知っておくべき知識を学ぶ**知識編**で構成する。

社会人と大学生と一緒に社会で起こる問題の実情を学び、“これから”について考える。

講座内容

第1回 10/13（日）13:00-15:00 場所：白鹿記念酒造博物館・記念館

【知識編】

地場産業～西宮のまちと酒造業のかかわり～

西宮では産業や観光といった様々な機会でも酒造業・日本酒が取り上げられることが多い。西宮で酒造業・日本酒に関わる活動をする上で、西宮のまちと酒造業との関わりをきちんと知っておく必要があります。そこで、350 年以上西宮の地で酒造業を営み、西宮のまちに深く関わる蔵元の当主から、白鹿記念酒造博物館・記念館を舞台にして、西宮のまちと酒造業の関わりについて学びます。



辰馬 健仁 氏

辰馬本家酒造株式会社
代表取締役会長兼社長



第2回 10/17（木）19:00-21:00 場所：西宮市市民交流センター

【スキル編】

プロモーション～まちづくりとプロモーション～

なぜ今、“地域創生”“地方創生”と言われているのでしょうか？兵庫県、日本はどういう課題に直面していて、まちづくりにどう取り組んでいけばよいのでしょうか？民間企業・政治・行政の側面からまちの活性化・プロモーション事業に携わった経験を持ち、「おいしい!広島県」や「もうひとつの京都」といった観光キャンペーンを企画した専門家から、まちづくりにおけるプロモーションの大切さとその手法を、実例を交えて学びます。



樫野 孝人 氏

株式会社 CAP 代表取締役
前兵庫県議会議員
かもめ地域創生研究所 理事
広島ビジネス&マネジメントスクール (MBA)講師

(株)リクルートで人事、雑誌編集長、福岡ドーム(現ヤフオクドーム)でイベントプロデュースを担当後、(株)アイ・エム・ジェイの代表取締役社長。広島県庁や京都府庁の特別職参与として、観光キャンペーンを企画。兵庫県議会議員を経て、(株)CAP 代表取締役、全国地域政党連絡協議会相談役、かもめ地域創生研究所理事などを歴任。著書に「リクルート OB のすごいまちづくり」「おいしい!広島県～広島県庁の戦略的広報とは何か?～」など。



第3回 11/2（土）13:30-16:30 場所：西宮市市民交流センター

【スキル編】

ファシリテーション～実りある会議のためのファシリテーション～

ファシリテーションという言葉が一般的に使われるようになった昨今、話し合いを円滑に進めるための傾聴や出された意見を見える化するグラフィックといった様々な技術を教わる機会も増えています。しかし、実際にファシリテーションを仕事の中で使っている人はまだまだ少ない。そこで、ファシリテーションを日本に普及させ、今もファシリテーションを生かして仕事を行う専門家から、現場で使えるファシリテーションの技術を学びます。



加藤 彰 氏

日本ファシリテーション協会 フェロー
株式会社日本総合研究所 シニアマネージャー

大学卒業後デンソーにて半導体研究に従事。その後、日本総合研究所に転職。ファシリテーションをベースに対話・学習・創造・合意の場づくりを基軸とした変革支援を専門とする。顧客企業メンバーの創造的意見を引き出すことが自らの信条。ファシリテーション研修も各社から定評あり。著書に『ロジカル・ファシリテーション』『ワークショップ・デザイン』など。



第4回 11/9（土）15:00-17:00 場所：西宮市市民交流センター

【知識編】

まちづくり～西宮のまちの変遷と阪急電車との関わり～

鉄道がまちの礎を造ったと言っても過言ではない阪神間。阪急電車の創業者である小林一三がめざしたまちづくりとはいったいどんなものだったのでしょうか。もしかしたらみなさんが通っている大学は阪急電車の沿線開発と密接に関係しているかもしれません。そんな歴史を紐解きながら、阪急電車とまちの発展の関わりをお話ししていただけます。また、これからのまちづくりの方向性を考える上でのヒントが隠されているかもしれません。歴史から学ぶことの大切さを感じてください。街を見る視点が增えるかもしれません。



仙海 義之 氏

公益財団法人阪急文化財団 理事・館長

公益財団法人香雪美術館の学芸員職などを経て、公益財団法人阪急文化財団理事・館長に就く。東京藝術大学・京都橘大学・大阪大学などで非常勤講師の経験がある。各地で「阪急」「小林一三」や専門である美術史に関する講演や記事の執筆を数多く行う。大阪府池田市にある阪急電鉄の創業者である小林一三の旧邸が記念館となっており、同文化財団が管理している。



第5回 11/16（土）15:00-17:00 場所：西宮市市民交流センター

【知識編】

商店街～まちの変遷と商店街の関わり～

生活環境の変化や経済発展に伴う流通の変化と共に、私たちを取り巻く小売店の形態も大きく変化してきました。そうした中、商店街の活性化に取り組む事例が全国で見られますが、今の若い世代は、生まれた時から今とさほど変わらぬ状況であったため、どのようにして小売店の形態が変わってきたのか、なぜ商店街で活性化の取り組みが行われているのかを知る由もありません。そこで、50年以上にわたり商業や流通に携わり、理論と現実との橋渡し役ができる希少な専門家から、時代の移り変わりに伴う商店街の変化と商店街に求められる機能について学びます。



石原 武政 氏

大阪市立大学 名誉教授

特定非営利活動法人コミュニティ事業支援ネット
理事

「地域小売業」「流通政策」「マーケティング」をキーワードとし、地域経済の活性化やまちづくりの分野で活躍。長年、商業論を現場の問題に向き合えるように拡張するべく研究を進めており、「まちづくり」との接点を探っている。大学での教鞭をとる第一線から退いた今でも、経済産業省等の国の機関からアドバイスを求められる商業まちづくりの第一人者であり、日本経済の潮流に即して流通の変化を経年で知る数少ない人物である。



企業や行政、地域、商店街との協働プロジェクトを通じて、社会で必要な知識やスキル・仕事のノウハウを学ぶ！

企業、行政、商店街、地域と協働した実践型プロジェクト活動 / 月2回+α

●対象・受講料

主に阪神地域の大学生・短期大学生

5,500 円/年 ※基礎講座 + 実践講座の料金。両方受講必須。

●実施期間

令和元年10月～令和2年3月

●学ぶこと

・企業や行政、地域、商店街との協働プロジェクトを行う中で、社会人から仕事のノウハウや知識、スキルを身に付ける。

・異なる大学・専攻の学生と企画から実施までをチームとして活動する中で、社会人として必要なチカラを身に付ける。

[チームビルディング／ファシリテーション力／コミュニケーション力／企画実行力／プレゼンテーション力]

●概要

受講学生は4つのコースのいずれかに所属し、各プロジェクトの協働先から出される課題について、その都度必要なアドバイスを受けながら、異なる大学・専攻の学生と一緒に企画から実施までを行う。ミーティングやチーム活動等のプロジェクト全体の進め方は、コーディネーターがフォローアップする。

●講座

①商店街プロジェクトコース

(連携団体：西宮中央商店街振興組合)

②日本酒プロモーションコース

(連携団体：辰馬本家酒造株式会社「白鹿」)

③まちづくりプロジェクトコース

(連携団体：大庄地区子ども会連絡協議会)

④イベントプロデュースコース

(連携団体：兵庫県阪神南県民センター)

①商店街プロジェクトコース 阪神まち大学 × 西宮中央商店街振興組合

●ミッション

つながりを強化する商店街プロジェクト

～商店主・商店同士のつながり・連携を強化する企画を実施せよ～

●活動概要

西宮中央商店街との協働プロジェクト

■提供されたテーマ・課題

- ・商店街と連携して商店街事業「十日えびす」に関わるなかで、西宮中央商店街を知る。
- ・商店街のお店、店主同士のつながり、連携を強化することを目的とした企画を立案し、実施する。

■活動内容（学生が担った部分）

商店街の現状について、より多くの人たちに関心をもってもらうための機会を創出するとともに、地域の人たちと西宮商店街の結びつきを強めるために、「西宮を彩る！僕たち、私たちの西宮アートコンテスト」を企画した。

コンテストは、小学生以下を対象とした「ジュニア部門」と、中学生以上を対象とした「一般部門」に分かれ、幅広い世代が参加できるようにした。また一次選考通過作品は商店街の電柱に掲示され、来街者の投票により入賞作品が選ばれることとした。これにより、アートコンテストを契機としてより多くの人が商店街を訪れる機会を創出することを企図した。

また、商店街の関係者と一緒に、西宮市の一大イベントである十日えびすに参加することで、商店街の活動の一端を担うとともに、アートコンテストのPRも行った。現在、インターネットやチラシ、西宮市の市政ニュースを通じた広報を行い、アートコンテストの作品の募集を行っているところである。

11月	西宮中央商店街を知る
11-12月	「十日えびす」における商店街PRのための企画を立案
1月	「十日えびす」に参加
1-2月	「西宮を彩る！僕たち、私たちの西宮アートコンテスト」の立案、PR、作品の募集開始
3月	「アートコンテスト」募集〆切
4月1日（水）	一次選考
4月	応募作品を商店街に飾る
5月23日	音楽とアートフェスティバル（予定）

●ミーティング

日にち	時間	内容
11月5日(火)	21:30-22:30	商店街と打ち合わせ
11月9日(土)	17:30-19:30	
11月16日(土)	11:00-13:00	
11月17日(日)	14:00-16:00	Web 会議
11月18日(月)	21:20-22:20	商店街と打ち合わせ
11月30日(土)	19:00-21:00	
12月4日(水)	16:00-18:00	商店街と打ち合わせ
12月8日(日)	9:00-18:15	阪神つながり交流祭
1月9日(木)	11:00-21:00	十日えびすでPR
1月10日(金)	11:00-21:00	十日えびすでPR
1月11日(土)	11:00-21:00	十日えびすでPR
1月22日(水)	15:00-17:00	商店街と打ち合わせ
2月4日(火)	14:30-16:30	関西電力と打ち合わせ
2月12日(水)	14:00-16:00	商店街と打ち合わせ

※このほか SNS を活用したテレビ会議等を適宜行い、事業実施に向けた話し合いを進めた。

●活動の様子

▶商店街との打ち合わせ



A photograph of three people, two women and one man, standing behind a night market stall. They are all holding up brochures for a product called '大藥' (Da Yao). The woman on the left is wearing an orange shirt, the man in the middle is wearing a purple shirt and glasses, and the woman on the right is wearing a purple shirt. The stall has various items for sale, including boxes of '酒治' (Jiu Zhi) and bottles of 'Jiu Zhi'. The background shows other stalls and lights, indicating a night market setting.



西宮を 彩る！

僕たち、私たちの 西宮アートコンテスト

西宮中央商店街の絵 大募集

テーマ 西宮中央商店街の好きなところ、思い出、あったらいいな！

募集期間 2020年1月9日(木)～2020年3月中

賞品

- ジュニア部門(小学以下)
- 特賞(1名): ススポーツギフト **1万円分**
- 入賞(2名): お買い物共通券 **2,000円分**
- 入賞(2名): ベンソン **(1万円相当)**
- 特賞(1名): お買い物共通券 **2,000円分**
- 入賞(2名): お買い物共通券 **2,000円分**
- 選考 コンテストHP
- ※一次選考(4月上旬)HPで発表/進捗者に通知
※二次選考(5月上旬)HPで発表/進捗者に通知
※最終選考(一次選考後)5/23(土) 日曜朝10時で終了します。
※一次選考通過作品を商店街に貼り出し、東街者の投票により最終決定!

賞状発表
5/23(土) 12:00～16:00 西宮中央商店街 音楽とアートフェスティバルにて結果発表!

商店街・学校・児童センター
みなさんとお話しする機会が生まれるので、地元的大学生で構成する「商店まち大生」の学生と一緒に西宮アートコンテストを実施しています。

みんなの投票で決定!
投票に来てやあ～

応募作品は商店街に
貼り出すで!
応募してやあ～

主催: 西宮中央商店街振興組合 / 阪神まち大学 (商店街プロジェクトコース)

後援: 兵庫県阪神南市民センター / 西宮市 / 西宮商工会議所 / 西宮市大学交流協議会

協賛: NPO法人コミュニケーション事業支援ネット

西宮中央商店街振興組合
〒650-0001 西宮市西宮町2-24 Tel: 07936-347910 (休:土・日・祝) Mail: ebusuandani@gmail.com

西宮市大学
〒650-0001 西宮市西宮町2-24 Tel: 07936-347910 (休:土・日・祝) Mail: ebusuandani@gmail.com

西宮市大学
〒650-0001 西宮市西宮町2-24 Tel: 07936-347910 (休:土・日・祝) Mail: ebusuandani@gmail.com

応募用紙 ※作品は速く、はっきりと書いて下さい。			
タイトル 部門： ジュニア・一般 小学生から高校生まで			
タイトル		部門： ジュニア・一般 小学生から高校生まで	
名前： ★ 氏名が重複する保護者氏名・同僚が必須 何歳まで： ☐ 同意する		年齢： _____ 年 _____ 月 _____ 日	
住所： (〒 _____) _____		Tel： _____ 小中学生 (縦読み) (横書き)	
		E-mail： _____	
応募必要事項 ① 応募者情報 (タイトル、部門、名前・年齢・生年月日・住所・Tel・E-mail) ② 応募作品 (※書き写りデータ 1 冊 40 頁以内・PDF 形式) ※印刷のサイズでも他力では印刷の困難なものも可			
応募方法 (※送付は 1 人 1 冊まで。 作品は返却しないものとします。) ① お店に持参する 近江連合会 近江市美術館 4-20 近江市立 三好池 近江市美術館 4-20 マツダ ① (近江市) 近江市美術館 4-4 Shimizu Onsen 4-20 (三好池) 近江市美術館 4-20 ② 郵送する 〒 602-0215 近江市美術館 4-24 近江市中央病院近江館 近江館 〒 ③ データで送る (送付先、送付月日表 P 参照) 〒			
〒 602-0215 近江市美術館 4-24 近江市中央病院近江館 近江館			

●ミッション

海外を視野に入れた日本酒プロモーション

～留学生を対象とした新たな日本酒ユーザー獲得のための企画を実施せよ～

●活動概要

辰馬本家酒造株式会社との協働プロジェクト

■提供されたテーマ・課題

- ・白鹿の様々な施設をフィールドに、インバウンドを見据えて留学生を対象としたプロモーション企画を実施する。
- ・日本特有の地場産業である日本酒造りに参加し、日本酒文化を体験する。

■活動内容（学生が担った部分）

留学生を対象に、白鹿ブランドや白鹿の商品、ひいては日本酒の文化を知ってもらうことを目的として、博物館等を見学してもらうとともに、白鹿のプロモーション施策についてのプレゼンテーションを行ってもらいイベントを企画していた。

具体的には、4～5月を目途に、日本酒に関心を持つ留学生および日本人学生に対して、白鹿記念酒造博物館（記念館・博物館）の見学会を実施。その後、インバウンド等を対象に白鹿ブランドをプロモーションする方法について考えてもらい、最終的に白鹿の社員の前で、その方法をプレゼンテーションする、等が計画されていた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、イベントの開催が困難となり、実施は見送られることとなった。

11月	白鹿、酒造りに関する基礎知識の勉強
12-1月	学生ならではの企画を提案、全体スケジュールの作成、広報計画の企画
1-3月	実施に向けての準備
3月	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベントの実施見送り

●ミーティング

日にち	時間	内容
11月16日(土)	13:00-15:00	
11月21日(木)	9:30-10:30	
11月26日(火)	19:30-21:30	
11月30日(土)	17:00-19:00	
12月8日(日)	9:00-18:15	阪神つながり交流祭
12月19日(木)	19:30-21:30	
12月26日(木)	14:00-16:00	
2月3日(月)	19:00-21:00	

※このほか SNS を活用したテレビ会議等を適宜行い、事業実施に向けた話し合いを進めた。

●活動の様子

»会社訪問



●ミッション

地域コミュニティの担い手づくりプロジェクト

～子どもを対象とした地域コミュニティの担い手をつくる企画を実施せよ～

●活動概要

大庄地区子ども会連絡協議会との協働プロジェクト

■提供されたテーマ・課題

- ・子ども会の行事に関わり、既存の行事の内容や子どもの様子を知る。
- ・12月に開催されるクリスマス会で、地域コミュニティのたいせつさを実感してもらえるプログラムを企画・実施する。

■活動内容（学生が担った部分）

12月開催のクリスマス会では、連絡協議会の役員の方の意見を参考に、学生が主体となって子どもが楽しめるイベント内容を企画した。イベント当日は、準備の段取りや全体進行を担い、子どもたちが楽しく遊べる機会をすることで、地域コミュニティに親しみをもってもらえる機会とした。

また、大学生によるパワーポイントを利用したプレゼンやクリスマス会での利用（〇×クイズ）等は、これまでそうした方法を活用してこなかった地域の人たちにとって極めて有益かつ魅力的なものとなり、大学生ならではの強みが、地域コミュニティ内に新たな風を吹き込むことになったと言える。

10月	大庄地区の現状を知る
11-12月	クリスマス会の企画・準備、チラシの作成・配布
12/7（土）	クリスマス会の開催

●活動結果

12月7日（土）9時30分～12時

大庄北生涯プラザ 3F ホール

地域交流クリスマス会

参加児童数：66人

●ミーティング

日にち	時間	内容
10月19日（土）	19:00-21:00	子ども会と打ち合わせ
10月21日（月）	19:00-21:00	
10月26日（土）	17:00-19:00	

11月3日(日)	9:00-11:00	
11月7日(木)	19:00-21:00	
11月9日(土)	18:00-21:00	子ども会と打ち合わせ
11月17日(日)	9:00-11:00	
11月24日(日)	9:00-11:00	
11月26日(火)	19:00-21:00	
12月6日(金)	19:00-21:00	クリスマス会準備
12月7日(土)	9:00-13:00	クリスマス会
12月8日(日)	9:00-18:15	阪神つながり交流祭
2月6日(木)	17:00-19:00	
2月13日(木)	17:00-19:00	

※このほか SNS を活用したテレビ会議等を適宜行い、事業実施に向けた話し合いを進めた。

●ミーティングの様子



●クリスマス会の様子





●クリスマス会のチラシ

指導者代表各位

令和元年 10月 28日
大庄地区子ども会連絡協議会
会長 森本 哲子

**地域交流
クリスマスのご案内
CHRISTMAS**

大学生と一緒にクリスマス会を楽しみましょう♪

みなさんのご参加お待ちしております!!!

阪神まち大学まちづくりプロジェクトコースの大学生が企画

とき
集合 令和元年 12月 7日(土)
開催時間 午前9時 受付開始
ところ 9時30分 ~ 12時ごろの予定
参加費 大庄北生涯学習プラザ 3Fホール
300円

申込み 指導者代表は、11月6日(水)までに取りまとめ、名地区理事に申込書と参加費を添えて
申し込みください。
理事は確認後、11月9日(土)の理事会の時に申込書と参加費を協板まで提出して下さい。
申し込み後の取り消し、または当日欠席の場合も参加費はお返しできませんので、
その旨了承の上、申し込んでいただくようお願いください。

●ミッション

「阪神つながり交流祭」のプロデュース

～兵庫県主催の大学生×地域連携を促進するイベントを企画・実施せよ～

●活動概要

■提供されたテーマ・課題

- ・行政事業の進め方やイベント運営の方法を知る。
- ・兵庫県が主催する「第10回阪神つながり交流祭」を企画・実施する。

■活動内容（学生が担った部分）

12月8日（日）に、兵庫県阪神南県民センターが主催する「阪神つながり交流祭 2019in 関西学院大学」の企画運営を行った。県の事業として行うため、阪神南県民センターの職員の方からのアドバイスやレクチャーを交えながら活動を進めた。今年は“知ってた？！地域のこんな魅力！－NO COMMUNITY, NO LIFE－”をテーマに、参加者全員が意見交流しやすいイベントを目指し各プログラムの内容を企画した。

「大学生による地域連携活動報告」では、大学生と連携先の方から連携した良さや課題を主に発表してもらった。また、参加者と発表者の意見交換をしやすくするために「大学生による地域連携活動報告」の間に「リフレクション」の時間を設け、報告を聞いた感想や意見についてグループ同士で共有し、その内容を「リフレクションボード」に貼ってもらうことで、積極的な交流を促す工夫をした。「ディスカッション」では、「大学生と地域の連携、大学生と企業の連携」というテーマを設け、参加者と大学生や連携先の方がグループでディスカッションできるようにし、大学生と地域、あるいは大学生と企業との連携の有用性を考えてもらえるように努めた。

参加者同士のコミュニケーションを促し、「大学生と地域、あるいは大学生と企業との連携」について考えてもらうための方法について、ミーティングで試行錯誤を重ねた。イベント運営のノウハウについては、事業コーディネーターである NPO 法人コミュニティ事業支援ネットがレクチャーし、学生が主体的に事前準備からチラシ作成、広報、出演者調整、会場設営、当日運営まで、「阪神つながり交流祭」の全体運営を行った。

10-11 月	大学生と地域、あるいは大学生と企業が連携することの有用性を見いだせるように自分たち独自の目標を設定 全体のスケジュール作成、企画概要作成、チラシと配布計画作成 阪神南県民センターの職員の方と企画内容について協議
11-12 月	広報開始・「ディスカッション」の企画
12/8（日）	「阪神つながり交流祭 2019in 関西学院大学」開催
1-2 月	振り返り、事業報告書のまとめ

● 阪神つながり交流祭

準備設営



開会式



大学生による地域連携活動報告



ディスカッション



閉会式



交流会

